

教育委員会 9 月定例会会議録（要旨）	
招 集 月 日	令和 5 年 9 月 1 4 日（木）
招 集 場 所	瀬戸市役所 庁議室
教 育 長	加藤 正彦
出 席 委 員	委 員 青山 貴彦 委 員 田中 直美 委 員 小澤 慎太郎 委 員 竹川 典子 委 員 加藤 千春 委 員 稲垣 遼
欠 席 委 員	なし
議案説明のため に出席した職員	教 育 部 長 磯村 玲子 教 育 政 策 課 長 谷口 暎 学 校 教 育 課 長 大羽 健志 学 校 教 育 課 主 幹 此下 明雄 学 校 教 育 課 主 幹 加藤 都志雄 図 書 館 長 吉村 きみ ま ち づ くり 協 働 課 長 杉江 圭司 文 化 課 長 井上 紀和 ス ポ ー ツ 課 長 中村 浩司
書 記	教育政策課企画補佐兼課長補佐 松見 健一 教育政策課専門員兼企画係長 松浦 慎造
傍 聴 人 数	1 名
開 会 時 刻	午後 2 時 0 0 分
閉 会 時 刻	午後 2 時 4 0 分

< 前回会議録の確認 >

8 月定例会会議録について、事務局から報告があり、承認された。

< 議事内容 >

1 報 告

(1) 催物の後援・推薦に係る審査結果報告について

- ・後援については、9 件の申請があり、いずれも基準に適合しており、後援を許可したことの報告があった。（教育政策課長 資料 P1, 2）

(2) 催物の後援・推薦に係る実績報告について

- ・許可済みの後援について、6 件の実績報告があったとの報告があった。（教育政策課長 資料 P3）

(3) 令和 5 年 7、8 月情報公開請求について

- ・教育政策課において、1 件、学校教育課において 7 件の公文書開示請求があったとの報告があった。（教育政策課長、学校教育課長 資料 P4～6）

(4) 図書館の特別整理休館について

- ・令和 5 年 9 月 21 日（木）～9 月 30 日（土）まで図書館が特別整理休館することについて報告があった。（図書館長 資料 P7）

【質疑応答】

加藤委員	地域図書館というのは小中学校の図書館を休日に市民に開放しているという ものですね。
図書館長	はい、おっしゃる通りです。
加藤委員	地域図書館というのは、学校の図書を利用していると思うのですが、その図書館が蔵書点検、館内整理をするために、休館するということなののでしょうか。実質的には学校の図書館が土日に市民に開放されているものなので、学校の理由で、開けられないというのならわかるのですが、地域図書館として休館するというのは何でかなと、例えば、学校もその学校の図書点検などを合わせてやるので、地域図書館としても、休館するということなののでしょうか。その辺りを教えてください。
図書館長	学校図書館を利用して地域図書館として開館しておりますが、元々学校にある図書と瀬戸市立図書館から持っていつている図書とを合わせて貸し出しを行っております。また、学校の図書についても、瀬戸市立図書館の電算システムによって一括管理しておりますので、この期間に、合わせて蔵書点検をやっていくということになります。 こうした作業を集中して土日に実施しますので、平日は学校図書館として利用できるようにしております。
加藤委員	それでは、平日は学校図書館としては開いているということによろしいです。
図書館長	学校図書館の利用には影響がないように点検をやってまいりますので、学校図書館の方は通常通り開館すると聞いております。

(5) 第16回愛知県市町村対抗駅伝競走大会及び瀬戸市代表選手選考記録会について

- ・令和5年12月2日（土）に愛・地球博記念公園で開催される第16回愛知県市町村対抗駅伝競走大会及び令和5年10月1日（日）に市民公園陸上競技場にて開催する選考記録会について、報告があった。（スポーツ課長 資料 P8～12）

2 議 案

第31号議案 瀬戸市文化財保護審議会委員の委嘱について

- ・瀬戸市文化財保護審議会委員の委嘱について、文化課長から資料に沿って説明があった。（教育政策課長、学校教育課長、図書館長 当日配布資料）
- ・議決結果：採択（賛成6、反対0）

4 その他

日程について（資料 P13）

- ・10月定例教育委員会は10月2日（月）10:00から市役所庁議室で開催することの連絡があった。
- ・11月定例教育委員会は11月9日（木）14:00から市役所庁議室で開催する予定であることの報告があった。

【質疑応答】

・9月定例会都市活力委員会での学校体育施設の地域開放事業に関する質疑について

加藤委員	<p>9月11日に市議会の予算決算委員会の都市活力分科会の審議状況がネット中継されておりました。その中で、学校体育施設開放事業について説明質問があり、スポーツ課長さんが学校体育施設スポーツ開放事業は、大きく三つの課題を抱えていると認識していると答弁をされていました。大変恐縮なのですが、その課題の内容と今後の対応についての検討状況について、ご説明いただきたいと思います。よろしくお願ひします。</p>
スポーツ課長	<p>スポーツ開放事業の課題ということで私の方から三つございますという答弁させていただきました。この事業は学校体育施設で学校の体育館、運動場、武道館を学校運営に支障がない限りで地域の方に使わせていただくという事業でございます。</p> <p>まず1点目の課題につきましては、利用いただくには、地元で10人以上の団体登録をする必要があるのですが、なかなか10人以上集らないことです。</p> <p>2点目は、体育館だとか武道場の鍵の開け閉めを地元の管理指導員の方をお願いをしているのですが、管理指導員の中には70代、80代の方もおり、高齢化にしている状況であり、次の指導員の方を探すことがなかなか難しいという事です。</p> <p>それから3点目につきましては、管理指導員には市から謝礼を出しておりますが、実際に施設を開閉していただく回数と、その謝礼の金額について差が生じていることです。管理指導員の方には、地元の活動に応じていただくようなボランティアで鍵の開閉をしてもらっております。</p> <p>そういった課題に対する今後の対応ですけれども、スポーツ開放事業については、瀬戸市の体育館等々を含めたスポーツ施設利用者の割合でいくと、全体の20%の方が、このスポーツ開放事業でスポーツに親しんでいるというような数字もあり、スポーツ振興におきましては、この事業を持続する必要があると考えていますので、利用しやすい環境作りという視点をもって見直しを図っていこうと検討を進めている段階です。</p>
スポーツ課長	<p>その中でキーワードとしてはICTを活用した事例が全国的にはあります。例えば、施設の鍵の開け閉めを電子鍵を使って、リモートロックのような形でやることによって管理指導員の負担軽減が図れるとともに利用者の方にも使いやすい施設となるのではないかと検討しているところでです。</p>
加藤委員	<p>そうすると今の実態はその管理指導員の方が管理鍵を持って、実際にその利用団体が利用するときには鍵を開けておられるということですか。</p>
スポーツ課長	<p>その通りです。</p>
加藤委員	<p>5月定例会教育委員会で昨年度のスポーツ施設の利用実績を資料としていただきましたが、例えば小学校で言うと、体育館の開放回数は年間で2830回となっていました。管理指導員は現場に2830回足を運んで、鍵の開け閉めをしているというのが実態ですか。</p>

スポーツ課長	そういう実態でございます。
加藤委員	謝礼の1回あたりの金額と年間で予算としてどのぐらい措置されているかということをお教えください。
スポーツ課長	謝礼は鍵の開け閉め、利用許可証の回収、電気使用料の料金シールの確認などの作業も含めて、1回あたり1200円となっております。また、年間の予算については430万円となっております。
加藤委員	昨年度実績によると、スポーツ開放による施設使用回数が5262回となっていることから、1回1200円だとすると600万円以上必要となります。予算が430万しかないのです、その差額が支払われていないということだと思っておりますが、実際の管理指導員への謝礼支払いはどのように計算しているのですか。
スポーツ課長	管理指導員への謝礼支払いについては、年間の使用回数に応じて年払いでの支払いとなります。予算に限りがあるため、施設ごとに上限回数を設けており、実際の使用回数が上限を超えた場合も上限部分までについての計算をさせていただき、1年分という形でお支払いをするという状況です。
加藤委員	そうすると上限よりも少ないときは、1200円かける回数で、上限ぴったりなら予算通りで、上限を過ぎるとそれはボランティアというか、そこは措置しないということよろしいですか。
スポーツ課長	はい、その通りです。
加藤委員	そうすると施設によって、10割謝礼が受け取れる方と、ボランティアの無償の部分が多い方とその差が生じてくるのではないかと思うのですが、これを改善していくつもりはあるのですか。
スポーツ課長	改善につきましては、管理指導員の負担軽減といった視点で、例えば電子鍵などのICT技術を活用するなどの改善をしていこうと考えておるところでございます。

教育長

加藤 正彦

教育長職務代理

小澤 慎太郎